

## 韓国「川の日」大会の開催目的

2002年に始まった韓国「川の日」大会は、今年で9回目の開催となります。毎年、韓国内の異なる都市で開催しており、開催誘致活動も活発に行われています。さまざまな活動主体による水辺環境（河川、海岸、湿地、湖など）の保全活動事例をまとめて、公開発表、公開討論、公開審査という方式を通じて優秀な事例を選考する大会です。また、選考だけではなく活動する団体が一堂に会し、開催地区の協力により大規模な祝祭として行われます。

## 日本からの参加者名簿

	参加者名	所属	
1	神谷 博	野川流域連絡会	発表者
2	中川 清史	野川流域連絡会	
3	上野 恭男	東京都 北多摩南部建設事務所	
4	赤松 祐造	和光自然環境を守る会	発表者
5	峯岸 正雄	和光自然環境を守る会	
6	左村 公	協和コンサルタント	
7	山口 徳雄	柳川水の会	
8	堀田 崇	大阪市立大学	
9	朱 鎬永	大阪府立高津高等学校	
10	朴 恵康	三重大学	
11	山道 省三	NPO全国水環境交流会 いし川・いし川づくり 実行委員会事務局	事務局 発表者

### 会場および宿泊先

会場 韓国慶尚北道安東市河回村内  
宿泊先 安東市河回村内民泊

### 緊急連絡先（留守宅用…）

韓国事務局 Kim Jing-Hong (キム・ジンホン)  
+82-10-5362-3676  
緊急の場合のみ、お取次ぎします

## 日本参加者スケジュール

8月27日(金) 仁川国際空港～安東市内		
12:00-12:30	集合	仁川空港中央ミレニアムホール(マクドナルド前)
13:00	出発	バス
16:00	到着	安東・河回村
15:00-17:30	川フォーラム	河回村タルチュム
19:00-21:00	開会式	歓迎夕食会 伝統音楽祭
21:30	宿舎へ	河回村内民泊
8月28日(土) 安東市・河回村		
9:00-12:00	予選	河川コンテスト ・青少年環境活動事例 ・環境教育事例 ・官民ガバナンス事例 ・生態保全事例
14:00-18:00	エクスカーション	河川及び文化史跡 ・文化史跡探訪 ・屏山書院及び洛東江 (参加費あり) ・安東市内観光 ・洛東江視察
19:00-19:40	日本の発表	野川流域連絡会 和光自然を守る会 多自然川づくり
20:00-22:00	本選	河川コンテスト(本選1部)
8月29日(日) 安東市・河回村～仁川・ソウル		
9:00-10:30	本選	河川コンテスト(最終)
10:30-11:00	閉会式	表彰式及び閉会式
12:00-16:00	移動 解散	仁川国際空港・ソウル市内

### 仁川国際空港での待ち合わせ

空港着 入国審査 荷物受取 到着ロビー(1階)  
中央ミレニアムホール(吹き抜けの中央広場)奥のマクドナルドで12:30に待ち合わせとします。その後、韓国側の事務局と合流し、バスにて安東市へ移動します。

1階の到着ロビー及び地階には、両替サービスや各種売店、レストラン、レンタル携帯電話サービスカウンター等があります。

## その他

### <安東・河回村について>

安東河回村は豊山柳氏が600年余りの前から代々住んでいる韓国の代表的な同姓(同族)村で伝統的な瓦葺きの家と藁葺きの家が長い歴史の中で保存されています。村の名前が河回というのは、洛東江が8字を描くように村を囲みながら流れている様子に由来しています。風水学的にも太極型・蓮花浮水型・行舟型などと呼ばれ、朝鮮王朝時代には生活拠点の適地として有名だったと言われています。河回村の家屋は村の一番高い中心部に立つ樹齢600年のケヤキを中心にして河に向けて配置されているので、方向が必ずしも一定方向ではなく韓国の他の地域の家屋が南向き又は東南向きであるのとは異なる雰囲気となっています。また、大きな瓦葺きの家を中心に藁葺きの家が円形を形成しながら配置されているのもこの村の特徴であるといえます。

1900年代までは350世帯が生活していましたが、現在は127世帯が残るのみで、村の中には437棟の建物が立ち、12家屋が国の重要民俗史文化財に指定されています。

600年に渡って河回村に代々続いた豊山柳家からは、賢人や学者などを輩出してきており、歴史、建築、民俗、などをはじめとする歴史的遺産は国の歴史的文化的遺産として登録され、有形・無形の伝統文化が息づいている村です。

### 参加費

10,000円(日本円で) 期間中の宿泊、移動、食費代

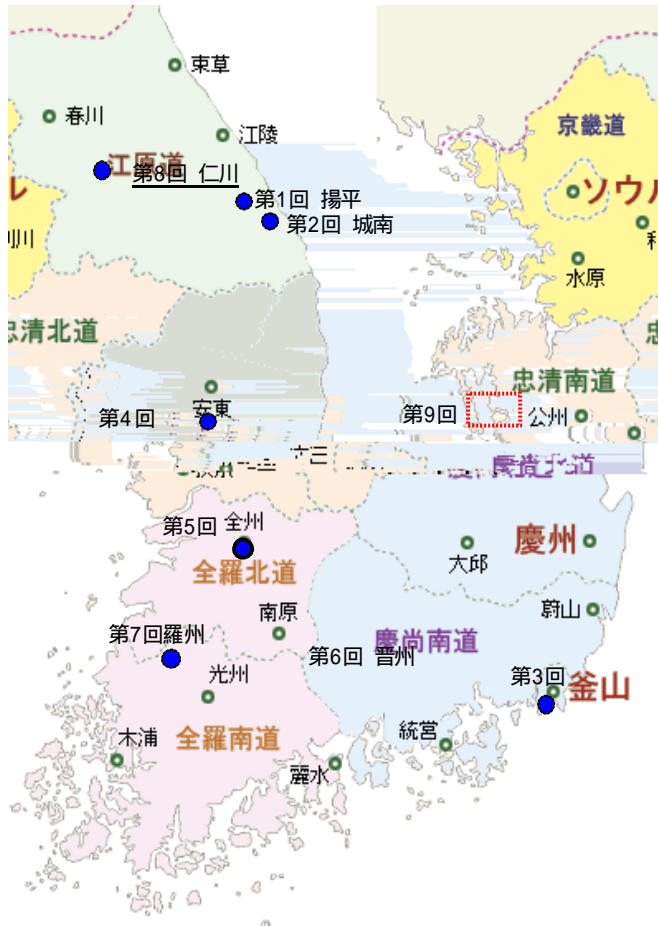
### 所持品等

#### 航空券及びバスポート

日本の気候とほとんど変わりませんが、航空機内や会場、朝晩の冷え込みに備え、薄手長袖のご用意をお勧めします。大会中の服装はカジュアルな服装で問題ありません。液体の機内持ち込みについては、100ミリリットル以下の容器に入れ、さらに縦横合計40cm以内のチャック付きビニール袋に入れ、手荷物として持ち込みが可能です。各航空会社のホームページ等のサイトに詳細が載っていますので、事前にご確認ください。

なお、今回の宿泊は民泊となります。シーツの用意がない場合がありますので、**薄手のタオルまたは、シーツ等**をご持参することをお勧めします。タオル、洗面用具は必須アイテムです。

< マップ >



韓国川の日大会開催地

- |            |           |
|------------|-----------|
| 第1回(2002年) | 京畿道 揚平郡   |
| 第2回(2003年) | 京畿道 城南市   |
| 第3回(2004年) | 釜山広域市     |
| 第4回(2005年) | 忠清南道 公州市  |
| 第5回(2006年) | 全羅北道 全州市  |
| 第6回(2007年) | 慶尚南道 晋州市  |
| 第7回(2008年) | 全羅南道 羅州市  |
| 第8回(2009年) | 仁川広域市     |
| 第9回(2010年) | 慶尚北道安東河回村 |

水環境に関わる日韓交流の経緯

- 2000年：  
 ・河川環境シンポジウムへの招待参加(ソウル市/7月)  
 ・第3回「川の日」ワークショップに韓国NGOを招待(東京)
- 2001年：  
 ・河川環境教育シンポジウム招待参加(ソウル市他/7月)  
 ・第4回「川の日」ワークショップに韓国NGO参加
- 2002年：  
 ・第1回韓国川の日陽平大会 & 国際シンポジウム開催
- 2003年：  
 ・第2回韓国川の日城南大会 & 日韓河川文化シンポジウム
- 2004年：  
 ・韓国NGO関東近郊都市河川視察受け入れ(5月)  
 ・第3回韓国川の日釜山大会にて日韓河川再生ネットワークの共同宣言文を交わす。
- 2005年：  
 ・第4回韓国川の日公州大会国際大会参加  
 ・日韓陸水学会主催「日韓合同シンポジウム」に韓国の高校生を招待し、青少年の交流がスタート(9月)  
 ・国NGOからの要請で中学生13名が来日、「日韓青少年河川交流フォーラム」を開催(12月)
- 2006年：  
 ・第5回川の日全州大会に参加。
- 2007年：  
 ・第6回韓国川の日晋州大会に参加(日本から30名参加、青少年水環境交流プログラム共催(日本の中高校生9名参加))  
 ・第10回「川の日」ワークショップにて青少年水環境交流プログラムを開催(横浜/韓国から中高校生10名参加)
- 2008年：  
 ・第7回韓国川の日羅州大会に参加(8月)  
 ・青少年水環境交流プログラム共催(日本、韓国)  
 ・第1回いし川・いし川づくりワークショップに韓国より47名来日・リトルサムサルン韓国に日本の高校生参加
- 2009年：  
 ・大学生を中心とした韓日川づくり海辺づくり交流開始  
 ・第3回いし川・いし川づくりワークショップ(韓国より12名参加)  
 ・第8回韓国川の日仁川大会(日本より18名参加)
- 2010年  
 ・韓国四大河川事業視察会(7月)  
 ・「川づくり・海辺づくりの韓日大学生交流会」(8月)

第9回韓国川の日安東大会

日時: 2010年8月27日(金)~29日(日)  
 場所: 韓国慶尚北道 河回村  
 主催: 第9回川の日安東大会組織委員会  
 共催: 韓国・水辺再生ネットワーク

< 韓国事務局 >  
 韓国・水辺再生ネットワーク  
 Office: +82-31-702-5767  
 担当: Kim Jing-hong

日本国内事務局  
 特定非営利活動法人 全国水環境交流会  
 (担当: 山道・長倉)  
 〒150-0001  
 東京都渋谷区神宮前1-20-14 神宮村301  
 (Phone) 03-3408-2466 (Fax) 03-5772-1608